

## Banco Santander Rio S.A. との業務協力協定の締結について

株式会社みずほ銀行（頭取：林 信秀）は、アルゼンチン最大手の民間銀行である Banco Santander Rio S.A.（以下「Santander Rio」）と、商業銀行業務における業務協力協定（以下「本協定」）を本日締結しました。Santander Rio が、邦銀と業務協力協定を締結するのは今回が初めてです。

Santander Rio はスペイン最大の金融機関であるサンタンドールグループ傘下のアルゼンチン現地法人です。アルゼンチン国内最大級のネットワーク（約400カ店、2016年9月現在）を有するとともに、トップクラスの預金・貸出シェアを誇る同国最大級の民間銀行です。なお、当行は、メキシコ、チリにおいても Santander の現地法人と業務協力協定を締結しています。

アルゼンチンは、世界有数の農業生産国であるとともに、豊富な天然資源を有しています。中南米において、ブラジル、メキシコに次ぐ経済規模を誇る同国は、今後、経済成長が見込まれており、日本企業の貿易や投資活動の活発化が期待されています。

本協定は、アルゼンチンへの新規進出や事業拡大を目指すお客さまに対してサービス体制の拡充を図るものであり、具体的には、Santander Rio を通じて、同国の現地経済情報や地場通貨取引等の幅広い金融サービスを提供していきます。

〈みずほ〉は、2013年7月のブラジルみずほ銀行の開業に続き、2014年9月にチリ・サンチャゴ出張所を開設する等、南米でのビジネス展開を強化しています。本協定の締結を通じて、お客さまの事業拡大ニーズをきめ細かくサポートするとともに、アルゼンチンの経済発展にも貢献していきます。

以上